【外務省主催】令和５年度NGOインターン・プログラム（募集要項）

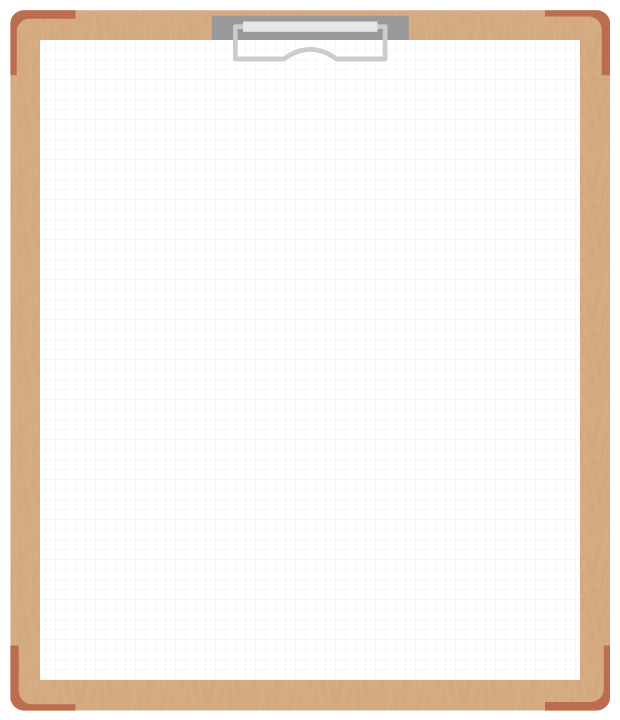
インターン受入団体の募集について（募集枠4団体）

# 事業概要

　国際協力に対する関心の高まりを背景に、市民による国際協力の担い手であるNGOへの就職を希望する若い人材が増えています。本プログラムでは、NGOへの就職を希望する若手人材のための門戸を広げると同時に、若手人材の育成を通じてNGOによる国際協力を拡充するため、インターン育成をNGOに委託し、育成にかかる一定の費用を支給するものです。本プログラムは2010年度から開始され、これまで100名を超えるインターンが本プログラムを卒業し、その多くが現在、国際協力の場で活躍しています。本年度は14年目を迎え、新たに4団体の募集を行うこととなりました。

# 事業内容

　外務省が、国際協力に従事する日本のNGOに対して、若手人材を約10ヵ月間受け入れ、実務を通じて育成する業務を委託します。インターン受入団体に対して、外務省から運営事務局を通じて、以下の経費を支給します。



《固定経費：135,600円/月》　　　　　　　  
以下４項目に充てる経費（金額は目安）  
①　消耗品費 ： 600円/月  
②　通信費 ： 10,000円/月  
③　指導経費 ： 45,000円/月  
④　インターン手当 ： 80,000円以上/月

《実費》  
①　交通費 ：10,000円/月（目安）  
②　損料（リース設備費）：100,000円/年  
③　海外渡航費 ：338,200円/年（目安）

海外研修にかかる  
渡航費や宿泊代をカバー！

インターン使用の備品（事務用品のリースやレンタル費用）も  
申請可能！　※一部条件あり

10か月で  
約180万円+交通費支給！

# 応募方法・締切り

（1）　受入れを希望するNGOは，育成対象となる人材（インターン）を特定の上，以下4点の提出書類（ウェブページにて掲載済）を運営事務局へ4月18日（火）～5月15日（月）＜必着＞迄に郵送にてご提出下さい。持参は不可です。なお、応募書類は返却しませんので、予めご了承ください。

（2）　締切り後，書類審査を実施し，主に人材の育成及び定着を図るという本プログラムの趣旨に合致するかという観点から，令和5年度に育成を委託する4団体を選定します。

# 提出書類・条件

1. 団体概要（別添1）

* 受入団体の条件：国際協力に従事する日本のNGOで特定非営利活動法人（認定NPO法人を含む）、社団法人または財団法人の法人格を有する団体。

1. インターン経歴書（別添2）

* インターンの条件および対象：

・原則として、国際協力分野に従事する日本のNGOでの勤務を希望する、大学卒業以上の若手人材であること。

・応募団体にて新規にインターンとして採用する人材、または令和5年1月1日以降に有給専従職員として採用された人材（ただし、過去に他団体で有給専従職員勤務経験ない人材）であること。

1. 育成計画書（別添3）

* 育成期間：10か月（令和5年6月1日～令和6年3月29日）

※育成したインターンを正職員として受け入れることを前提にした場合に限り、2年目の当該インターンの育成を認める場合があります（書類選考あり）。

* インターンの勤務条件：週25時間以上
* 育成期間中に最低1回、海外事業地における業務に従事させること。

ただし、危険情報及び感染症危険情報レベル３（渡航中止勧告）が発出されている国・地域（または、感染症危険情報レベル２以下であっても、可及的速やかな帰国を促す広域情報が発出されている地域（アフリカ））については、本プログラムでの渡航はできません。危険情報及び感染症危険情報レベル2（不要不急の渡航は止めて下さい）が発出されている国・地域での研修については、渡航の可否については渡航前に別途検討します。また、通常の危険情報レベルも併せて渡航の可否を検討します。

* 感染症の流行等に伴い、海外研修が不可能になった場合、国内研修代替案も実施していただけます。その際の計画書も必要です。

1. 固定経費内訳書（別添4）

* 上記「◆事業内容」で提示している【固定経費】について、記載の内訳金額は目安であり、合計額（135,600円）の範囲内で、調整できます。各費目において使用する予定金額の内訳を記載してください。これは、当該経費が費目以外の目的で使用されないこと、またインターンに対して相応の手当（給与）が支給されること（80,000円以上/月）を確認するものとなります。

※インターン手当を含め、団体の判断より合計額を超える不足分は、必要に応じて自己資金で補充してください。

# 注意事項

【重要】健康診断について

新型コロナウイルス感染症の流行による影響を考慮し、今年度は応募時の健康診断書提出を不要とします。採用された団体のインターンの方には、後日健康診断を受診いただき、その結果を提出していただきます（日程は個別に連絡します）。なお、その結果によっては渡航計画や育成計画の変更を求める場合もありますので、ご承知おきください。

安全管理のため、「たびレジ」及び「在留届」の登録を必ず行ってください。また、研修出発前には現地及び本邦緊急連絡先（携帯番号を含む）の提出をお願いします。

* たびレジ（外務省）  
  　　　　https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/
* 外務省HP 「在留届」をご存知ですか？  
  　　　　https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/

# 結果発表

**令和5年5月25日（木）　［予定］**

　運営事務局ホームページにて発表するとともに、郵送でも通知を行います。

《「NGOインターン・プログラム」専用ウェブページ（JOCAウェブサイト内）》

[**https://www.joca.or.jp/news/project/ngointern/**](https://www.joca.or.jp/news/project/ngointern/)

# プログラム開始

　選定団体には、令和5年6月1日（水）よりインターンの受け入れを開始していただきます。

【お問い合わせ先】

令和5年度NGOインターン・プログラム事務局  
公益社団法人 青年海外協力協会（JOCA/ジョカ）

担当：伊藤、中西、長浜

〒247-0007  
神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1（あーすぷらざ内）

TEL: 045-392-8837

Email:ngointern@joca.or.jp